

指針第2号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,782	t-CO ₂
①を 除く 炭素 換算	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,782

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO ₂	令和 6 年度	t-CO ₂	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	t-CO ₂		
温室効果ガス 総排出量	1,921	t-CO ₂	1,748	t-CO ₂	1,842	t-CO ₂	1,840	t-CO ₂	1,782	t-CO ₂
削減率(対基準年度)			9.0	%	4.1	%	4.2	%	7.3	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率(対基準年度)						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの 排出量								
削減率(対基準年度)				%		%		%
原単位あたりの みなし排出量								
削減率(対基準年度)						%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和4年度目標達成につきまして報告いたします。
 一番の要因は軽油の使用料の減少にあります。
 エコドライブの徹底と新車の導入が進み、使用料の減少につながりました。
 令和6年度以降も徹底したいと思います。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房温度28℃、暖房温度19℃を徹底する。 ・空調機器のフィルターを一週間に一回の清掃を徹底する。 	電気使用量を年1%削減させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房温度25～28℃、暖房温度20～25℃で使用しました。 ・空調機器のフィルターを小まめに清掃しました。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋や昼休み・時間外消灯を徹底する。 	電気使用量を年1%削減させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋や昼休み時間外消灯を徹底しました。 ・事務所の蛍光灯を全部LEDに交換しました
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン・コピー機の離席時・退社時のスイッチオフを徹底する。 	電気使用量を年1%削減させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの退社時スイッチOFFを実践しました。 ・パソコンのお昼休憩時スイッチOFFを心掛けました。
自動車輸送に関わる対策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底。 ・低公害車の導入。 	低公害車を令和3年度までに5台導入する。	エコドライブの教育を定期的に行いました。

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の口」等に特に推進すべき取組の実施状況

--